

通勤通学等支援社会実装事業 (結果報告)

都市再生課 地域公共交通政策室
令和7年7月

(1) 調査の目的

夜間時間帯(19～22時)の公共交通の需要やニーズ把握のため、夜間バスを試験的に運行し、生活に必要な交通路線の需要有無についての検証を行う。

(2) 需要調査の概要

●運行の態様・運行区間

- ・定時定路線運行(19時、20時、21時台 各1本)
- ・赤間西地区、河東地区(赤間駅北口⇒城ヶ谷公民館⇒泉ヶ丘中央(西鉄バス)⇒くりえいと3丁目⇒天平台⇒須恵⇒日焼原⇒ネオポリス二丁目⇒ひかりヶ丘馬立公園⇒ひかりヶ丘中央⇒樟陽台1丁目⇒赤間駅北口)
- ※人口集中地区(DID)にある住宅地などを繋ぐルート、11ヵ所を設定

●調査期間

令和6年5月20日(月) ～ 8月9日(金) 59日間 ※土日祝日を除く

●アンケート実施方法

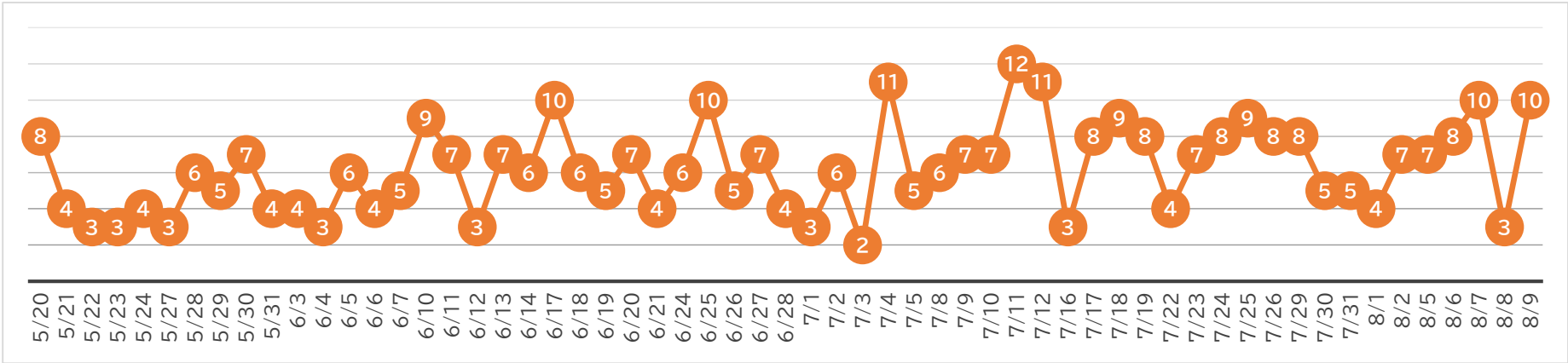
QRコードを活用し、アンケート回答サイトで回答をしていただいた。

・QRコード付チラシの配布方法

赤間西地区、河東地区のコミセンだよりに掲載
赤間西地区、河東地区に使送文書(回覧)を配送
ふれあいバス(全系統)の各座席に貼り付け
本事業で停車するバス停の広告スペースに掲出
赤間駅構内でのポスター掲出、チラシ配架
学習塾(英進館、全教研、石松塾)にチラシ配布
市公式LINE、市公式Facebookで周知
職員による駅構内でのチラシ配布

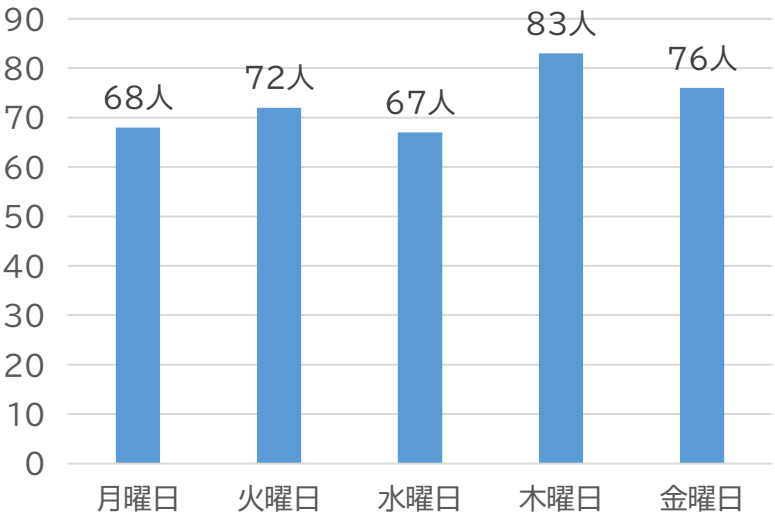
(1) 利用者数推移

(単位:人)

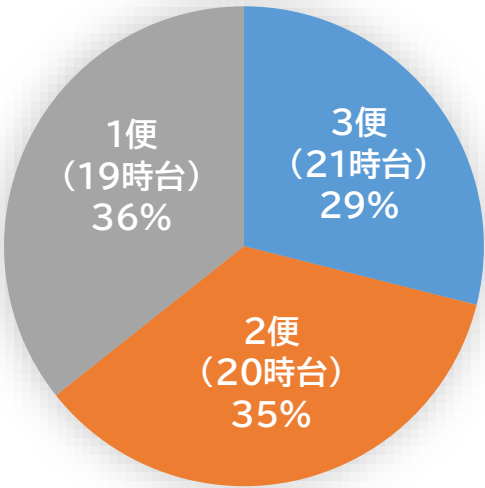


一日あたりの利用者数の平均は6.1人(1便あたり、2.1人)

(2) 利用日(曜日)

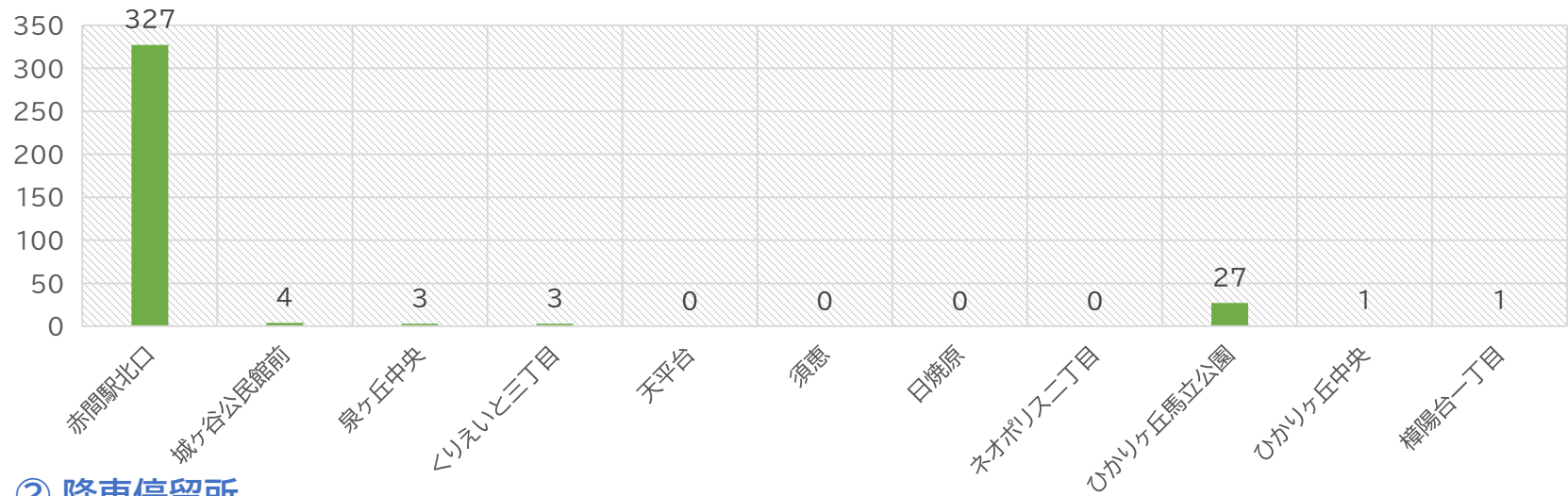


(3) 便ごとの乗者数

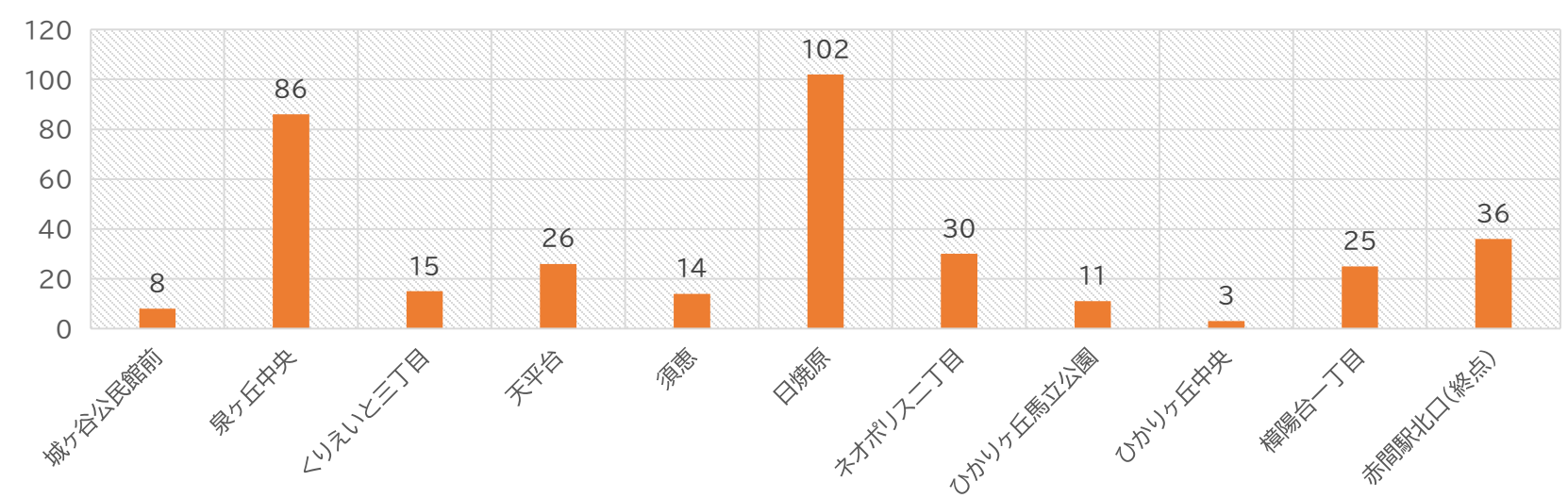


(4) バス停の乗降者数

① 乗車停留所

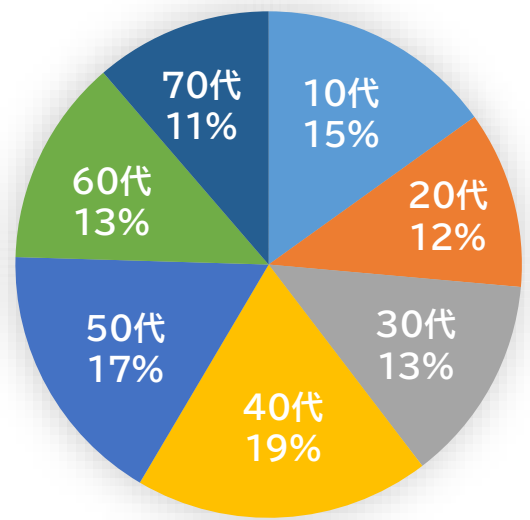


② 降車停留所

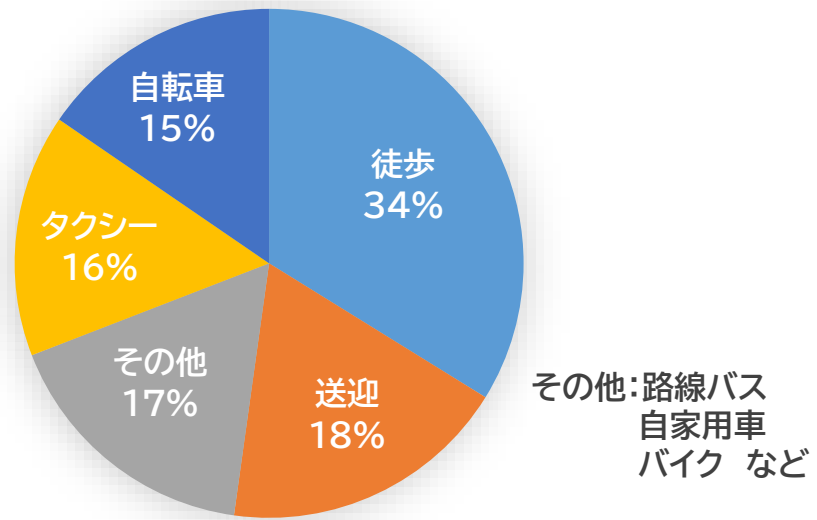


・通勤、通学等の帰宅需要から、乗車場所が集中し目的地が分散している。

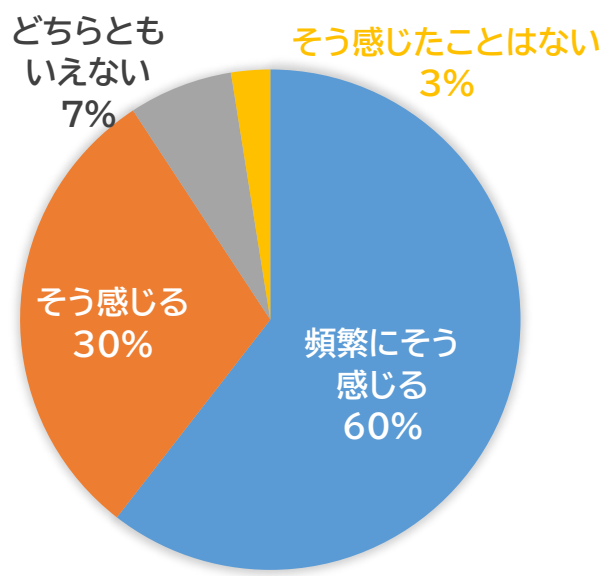
Q.年代



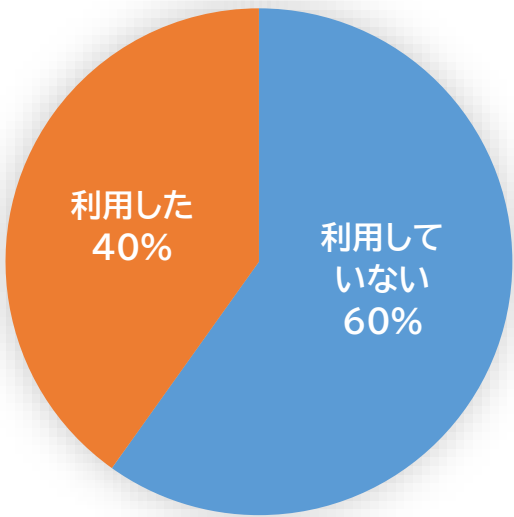
Q.普段の帰宅方法



Q.夜間時間帯(19～21時)の交通手段について不便と感じたことがあるか

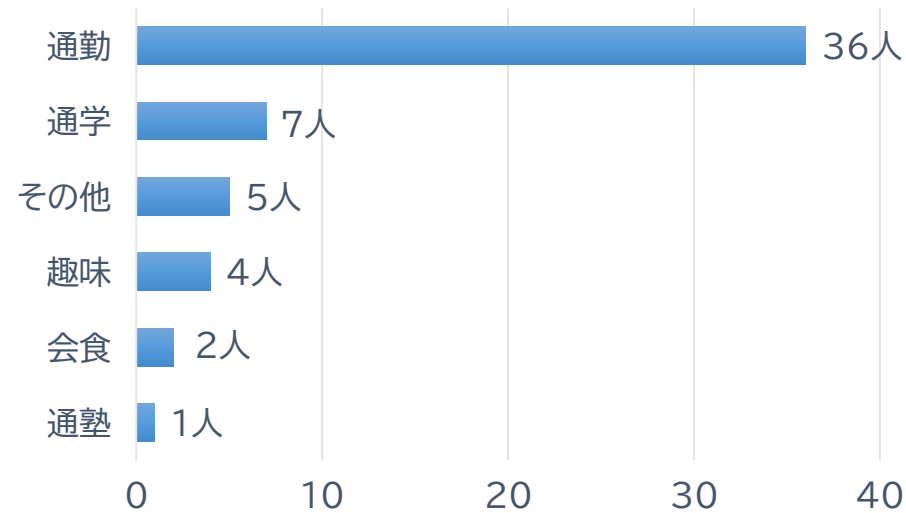


Q.夜間バス(ラピコ)を利用有無



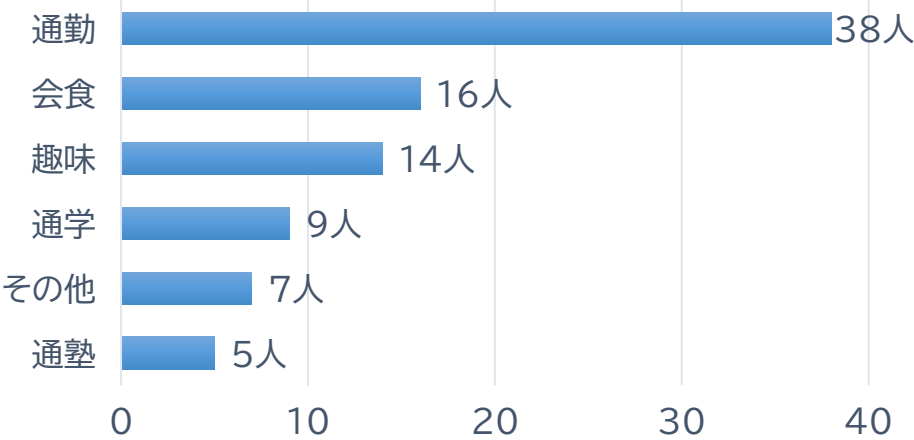
Q.利用目的(利用者のみ回答)

(n=55)



Q.夜間バスどのような目的で利用したいか
(利用者のみ回答)

(n=89)



Q. 夜間バスどのような目的で利用したいか
(利用していない方のみ回答)

